



## ベアホープ妊娠相談

ベアホープ代表 ロング 朋子



私たちのケースの殆どは、妊娠相談から始まります。「彼氏とやっちゃって、妊娠しちゃってたらどうしよう?」から「中絶費用下さい」「妊娠して家を追い出された」「結婚しているのに、主人でない人の子どもを妊娠した」などなど、相談内容は本当に人それぞれ。

それにしても妊娠した時の困り度って、女性と男性とでは雲泥の差です。中高生だと、女の子は受験や卒業が危うくなったり退学になったりするのに比べ、相手の男の子の親もは知らんぷり。お金で解決してしまおう!という事の多いこと多いこと。

社会人だと「子どもが生まれたら結婚しよう」と言っておきながら、どこかへ雲隠れしてしまう男性や家庭があるので養育費を一括払いであとは知らぬ存ぜぬ。それでも子どもは生まれてくる。そんな危機的状況に陥っている女性達に会っていると、↑

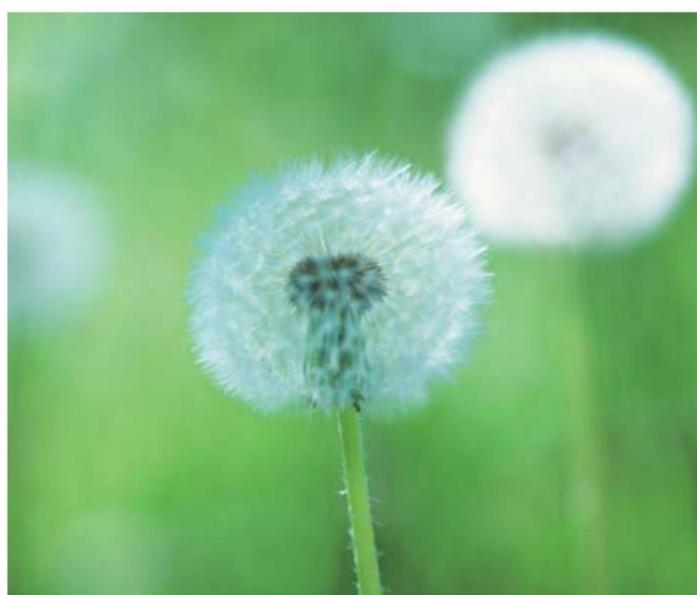
早いうちから女性が自分の身を守るという事を学んでほしいという思いで一杯になります。男性も女性と同じように、子どもの命へ対しての責任について学ぶ必要があるのはもちろんの事です。

ゴムをしていてもピルを飲んでいても妊娠した女性たちもいますし、不特定多数と関係を持っている場合、これでは性病は防げません。「避妊していれば大丈夫」は神話だという事、特に若いちは特にその場の雰囲気に流されやすく、誘惑にも弱くて避妊すら難しいという事を、周りの大人も認識する必要があります。

男女共に、子どもの頃から「女性の体は妊娠と向き合う事があるかもしれないから、大切に責任を持てる

までは、体の付き合いをしない様にすることが最大の避妊だ」という意見極端にも見えるアブステナンス教育が、実は多くの女性を守る為に必要なのではないかと、ひしひしと感じている今日この頃です。

ピンチ!な状況に陥っていた女性達のうち、多くの人は望んで妊娠したわけ  
(次頁へつづく)



ではありません。それでもなんとか妊娠・出産に向き合いで、様々な形で課題の多い時期を乗り越えて(あるいはやり過ごして)いきます。そんな彼女たちが、妊娠期や出産と出産後の時期の課題をさまざまな支援や援助を利用して乗り越えていける様にサポートするのが、私たちペアホープの仕事です。

予期しない妊娠をした女性達(と数は少ないですが、パートナーの男性達)のうち、「子どもが愛されて安定した家庭で育つ事が出来るように」と、あえて養子縁組を選択する人がいます。養子となった子どもは、自分の為に自分を産みながらも養子縁組を選択した「実母」がいる事を告知されて育っていくのです。

ペアホープのホームページでは(「ペアホープ」「育てられない」で検索)そんな実母さんの一人、きのこ♪

## 養子縁組あるある



親子が似ているのは遺伝だけが理由ではない…と思うことがしばしばあります。ペアホープが始まっています以来、1年目に委託した子どもたちは赤ちゃんからすっかりお姉ちゃん・お兄ちゃんになりました。お腹にいる時から知っているのよ、と思うと感慨もひとしおです。

そんな子どもたちの“あるある”が、養親さんに似てくること。よく“似たもの夫婦”とはいいますが、一緒に生活することで仕草や口癖が似てきてたり、性格が似て

るさん(仮名)の'interview'を載せました。子どもへの気持ちや風俗をしていた時からの気持ちの転換についても話してくれています。スマホでサクサク読めると思うので、是非読んでみてくださいね!

ただ、きのこさんのように、中絶できない、身分証もなく住所地も不明、住む場所もないという中、妊娠出産と言う「危機」を乗り越えて、前向きに自立に向かっていく女性ばかりではないのも現状です。風俗に戻ってしまう方や、周りの支援もなく子育てしようとしてつらくなってしまった女性も少なくないのです。

女性達には望まない妊娠はしてほしくない、でもしてしまった時は、妊娠・出産を機に必要な支援に繋がり、多くの支援の中自立を目指してもらえるようにと願っています。そのために、ペアホープに何が出来るのかを日々考えつつ活動していきますので、これからも応援よろしくお願いいたします!

## 紫メガネの カウンセラーから

カウンセラー 渡辺 貴子



前回のニュースレターでは、よい夫婦の関係はお互いにとっても子どもにとって大切なことを書きました。そんなよい関係を築きあげていくための大切な要素の一つは、愛されていると実感することではないでしょうか?人は誰でも「愛されている。」「大切にされている。」と思うと自然と生きる活力がわいてきます。そして、お互いが同じように愛されていて大切にされていると感じる時、嬉しいことが2倍余計に嬉しく感じ、大変なことが半分に思えてくるようになるものです。

けれども、夫婦でお互いに愛情表現をしているつもりでも、相手に伝わらず、衝突してしまことも。アメリカの結婚カウンセラー ゲイリー・チャップマン博士によると、人はそれぞれ違った方法で愛情表現をし、人が愛情を感じる方法は様々だそうです。

主に5つのラブ・ランゲージ(愛の言葉)があって、そのラブランゲージとは…

- 肯定的な言葉** 愛情や感謝、励まし、ほめる言葉をかける
- 質の高い時間** 一对一でじっくりと話をしたり、何かをする時間を持つ
- 贈り物** 高価なものでなくても、人からプレゼントをもらう
- サービス行為** 相手のために何かをする
- 身体的なタッチ** 手をつないだり、ハグなどスキンシップをとる

皆さんのがこの中でされて嬉しいことは何ですか?反対に皆さんの大切な人がされて嬉しいことは何でしょうか?自分と相手のラブランゲージを知り、お互いのために相手が喜ぶラブランゲージを使って愛情表現をする時、「愛されている」「大切にされている」気持ちが高まり、二人の関係を強固にしていくための潤滑油になっていくことでしょう。



## Message

2歳4ヶ月の男の子を迎えて、一年が経ちました。初めて会った時はお互いに緊張てしまい、息子は笑顔もなく、目も合わせてくれませんでした。初めてづくりの新米家族。あっという間の一年でした。

今では、すっかりおしゃべりでひょうきんに成長した息子を中心に、毎日大笑いして、賑やかで楽しい毎日を過ごしております。

ご縁を結んで頂いたすべての方に心から感謝をしております。



# 養子の日キャンペーン よーしの日 2017

平成29年4月2日、日本財団にて「よーしの日」イベントが開催されました。

ベアホープでは民間団体ブースに出展(写真参照)。ロングは「養子縁組をした方との座談会」のトーキリーダーとして皆さんのお悩みと一緒に考え、ご質問に答えました。また、「これから養子縁組をお考えの方へ」では、どんな団体があるの?まずはどのように始めたらいいの?などの質問に答えるトークショーに、ベアホープを通して特別養子縁組をされたご家族が出演。赤尾が司会を担当しました。出展ブースにも多くの方に足を運んでいただき、大盛り上がりの1日でした。



個人情報保護の観点から一部掲載内容を省略しております。

ベアホープでは、妊娠して悩んでいる方の相談にのり、サポートをしています。  
プロのカウンセラーや助産師が対応していますので、安心してまづご相談ください!  
個人情報を守りながら、あなた自身とあなたの赤ちゃんにとって、最もよい道をご一緒に考えたいと思っています。



第二種社会福祉事業 一般社団法人 ベアホープ  
〒203-0014 東京都東久留米市東本町3-17 2F  
TEL 042-420-6625 妊娠相談受付時間/  
平日9時~21時 土日13時~21時

E-mail office@barehope.org  
URL http://barehope.org/



Find us on

(社)ベアホープはキリスト教主義に基づき、すべての人が神様に愛され大切にされるべき存在だと信じ活動しています。

わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している エレミヤ31:3  
I have loved you with an everlasting love Jeremiah 31:3